

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/08/08

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	35.80	-0.09
JPY/THB	0.2651	-0.0047
USD/JPY	135.01	2.12
EUR/THB	36.46	-0.31
EUR/USD	1.0183	-0.0063
USD/CNH	6.766	0.015
SGD/THB	25.92	-0.15
AUD/THB	24.75	-0.26
USD/INR	79.24	-0.23
USD Index	106.62	0.93

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.016	-0.084
10Y (THB)	2.486	-0.033
5Y (USD)	2.956	0.163
10Y (USD)	2.827	0.139

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,772.9	-15.6
WTI (Oil)	89.01	0.47
Copper	7,870.5	143.0

Stock

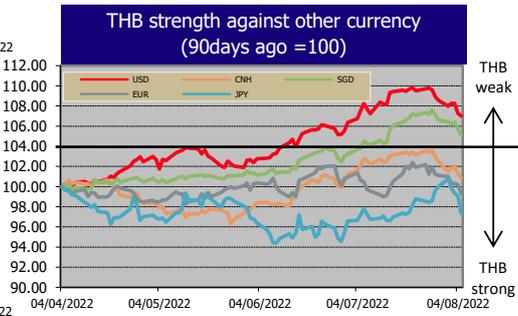
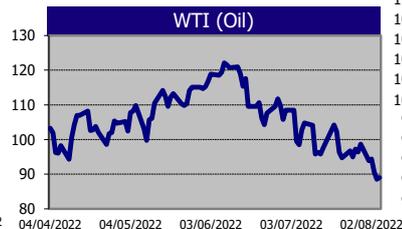
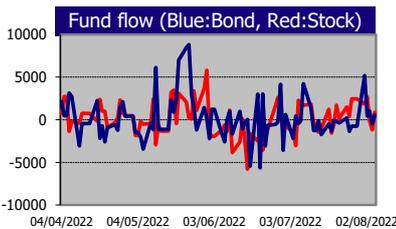
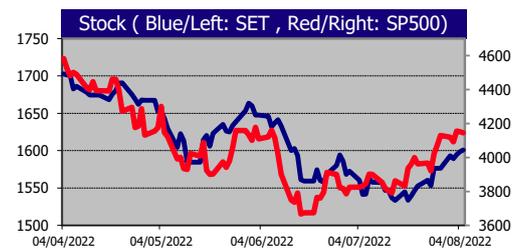
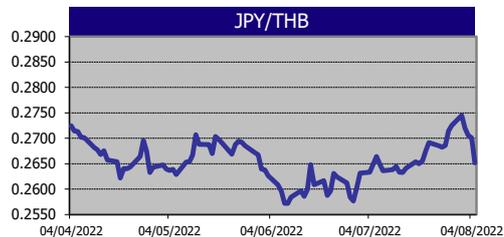
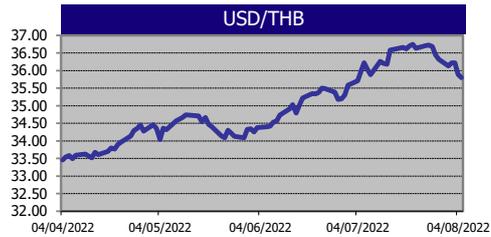
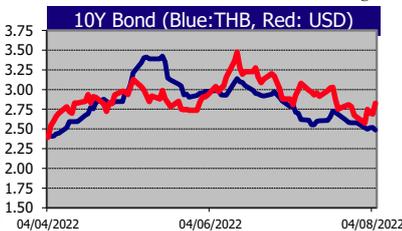
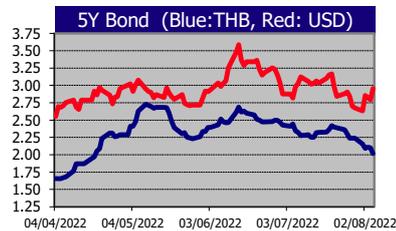
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,601.09	2.34
NIKKEI (JP)	28,175.87	243.67
DOW (US)	32,803.47	76.65
S&P500 (US)	4,145.19	-6.75
SHCOMP (CN)	3,227.03	37.99
DAX(GER)	13,573.93	-88.75

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	901	2106.1
Bond net flow	546	1025.1

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

先週金曜日(8/5)のドル/パーツはタイ内外の指標を眺めつつ往ってこの展開。35.83レベルでスタートしたドルパーツは、この日発表された7月タイ消費者物価指数が生鮮食品を除くコアCPIにおいて前年比2.99%の上昇となり、市場予想(同2.63%上昇)を上回る結果となったことを受け、パーツ高が進行。およそ1か月ぶりの水準である35.55まで下落した。一方、日本時間21時30分に発表された米7月非農業部門雇用者数では前月比528千人増と市場予想の同250千人増を大幅に上回る結果となったことからドル高が進行し、ドル/パーツは反転上昇。結局オープンと同水準である35.80レベルでクローズした。

●ドル円その他

先週金曜日(8/5)のドル/円は上昇した。東京時間にかけては米長期金利が低下するなか、上値の重い推移が続いたものの、上記米7月雇用統計において雇用者数の増加のみならず、賃金の上昇等、総じて良好な結果であることが確認され、ドル高が進行。直前まで133円台前半で推移していたドル円は2円以上の値幅を伴い、一時高値135.52をつける場面も見られ、結局135.01でクローズとなった。

Bangkok Dealer's Eye

今週、8/10(水)に開催されるタイ中銀によるMPC(Monetary Policy Committee)は今後のパーツ相場を窺うにあたり、非常に重要な会合となるのが想定される。2020年の5月に政策金利を0.5%に引き下げ、足もと米国を中心とした先進国に加え、その他新興国も金融引き締めに向いている中でも金利据え置きを続けてきたタイ中銀が、いよいよ利上げに転じると予想されているためである。実際、先週8/4以降(米金利低下等、その他の要因もあるものの)、金利引き上げを期待したパーツ高が進んでいる。
緩和路線継続が既定路線と捉えられていたタイの金融政策において、前回(6/8)のMPCでは政策委員7人中3人が利上げを主張し、サプライズとして受け止められた。今回のMPCにおいても大方の予想である0.25%の政策金利引き上げに対し、0.50%の引き上げを予想する向きも一部見られている状況。お盆休暇に入り、特に円の取引が少なくなっていることが想定される時期に開催される会合だけに、予想外の展開があった場合の(特にパーツ/円)の相場の動向は急激なものとなることも想定できる。パーツの取引を予定されている皆様においては十分な準備を行ったうえで、安心して休暇を迎えて頂きたい。(末廣)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.